

神奈川県異業種グループ連絡会議 <第110号>

かながわ異業種グループニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事(事務局長) 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2012年1月号



【 今月のコンテンツ 】

● 新年のご挨拶	金究議長、雑賀副議長ご挨拶	1
● 干支の話	戸出 武 氏 (掲載者：芝 忠)	2
● 【 就業規則の役割とは 】	連載オフィス 架け橋 松田 健 氏	2
● 岩手県知事よりのお礼状紹介		3
● 異業種会員グループ・プロジェクト状況		3, 4, 5
● 産学官交流サロンコーナー		6
● 事務局コーナー		6

【 新年のご挨拶 】

神奈川県異業種グループ連絡会議 議長 山勝電子工業 (株) 金究 武正

新年あけましておめでとうございます。
 今年で早くも議長就任3年目に入りました。その間、諸先輩の皆様はじめ事務局の方々に支えられ何とか重職をつとめさせて頂き大変感謝致しております。昨年は東日本大震災、タイの大洪水、欧州の金融不安等による急激な円高により、日本経済は最大の危機に直面致しております。特に製造業に至っては大企業、中小企業問わず円高による国際競争力の低下特に新興国（台湾・韓国・中国）の 追い上げもあり、今後の動向次第によっては日本の製造業の将来にとって最大のピンチを迎える可能性があり危惧されているところであります。国際政治面においても昨年の北朝鮮から始まり今年は台湾・フランス・ロシア・中国・アメリカ・韓国と各国指導者の変わる可能性もあり政治的、経済的にも大きな変化が予測されます。このような環境下において異業種の使命は大変大きく、神奈川県の中企業異業種グループの中核団体とし、今後の経済動向、新技術、新製品等の情報・雇用・人材の確保、産学連携及び交流、震災支援、他の異業種グループとの交流等積極的に推進させていく所存です。
 今後も会員皆様のより一層の御指導、御鞭撻を賜ります様宜しく御願ひ申し上げます。

神奈川県異業種グループ連絡会議 副議長 サイカヤ・システムテクノロジー (株) 雑賀 政徳

平成24年の新年をお祝い申し上げます。2012年を健やかに迎えになり、心よりお喜び申し上げます。昨年、現内閣は実務派を掲げてスタートしましたが迷走飛行を続け、財政再建、税と社会保障の一体改革、公務員、国会議員の給与、人事削減などを見送りました。組織が機能するには司令塔（リーダーシップ）と政治哲学が必要です。その様な中、この異業種は28年目を迎え内外（団体）に向けて情報発信を行ってまいりました。例えば、異業種交流、産業交流サロン、海外向けコンソーシアム、海外相互視察、各メカトロプロジェクトなどです。本年も会員、諸団体の皆様と「絆」を深めてまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしく御願ひ申し上げます。

< 干支の話 > 戸出 武 氏 (掲載: 芝 忠)

京都の異業種交流の大先達である戸出(といで)武先生から今年も「干支の話」が送られてきました。わが「異グ連ニュース」の愛読者でもあり、筆者の若い時分、京都に伺い(財)京都産業情報センターのコーディネーター事業を学んだものです。7年前に体調を崩されご自宅で療養なされています。今回は京都市城陽商工会議所だよりに掲載された「平成24年の見方・考え方、干支にちなんだイイ話」から抜粋紹介します。

干支の文化は日本固有のものではなく、起源は約3500年前の中国・殷に遡り、わが国へは6世紀頃、朝鮮半島を経て伝えられました。歴史は古いといえます。干支とは「日を数える「十干」(甲乙丙丁戊己庚辛壬癸)と月・時刻・方位を表す「十二支」(子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥)とを順次組み合わせ、安政三丙辰年というように年を表す符号として用いられました。ところが近年は干支といえば親しみやすい十二支の動物を指すようになりました。平成24年(西暦2012)の干支は「壬辰(みずのえ・たつ)」動物では十二支のうち唯一、架空の動物である神秘的な力を有する竜が充てられています。そこで壬辰の漢字の成り立ちから新年を占うとともに竜のことわざに学ぶ「人生語録」のイイ話をまとめておられますが、紙数の関係からほんの一部を紹介いたします。

まず「壬」(漢字のもとになった象形文字が紹介されていますが、活字にないので省略します、以下同じ)には三つの意味があり、①壬はI型糸巻の心棒を描いた象形文字で糸を巻きつけると段々膨らんでいきます。②壬は、女偏を付けると「妊」で孕む(はらむ)意があり、植物の果実が徐々に成熟することを暗示します。③壬は人偏をつけた「任」と同義語で、まかせるとか、負担にたえる意味があります。

「辰」にも三つの意味があり、①辰は、おおはまぐりの「蜃」(しん)のことで、二枚貝が開いて殻から出た足の肉をひらひら動かしている姿を象ったものです。②辰は、手偏のついた「振」(ふるう・とどのう)と同様に、万物の形が整い活力が旺盛になった有様を示しています。③辰は、発音が同じシンである「伸」に通じ、万物がのびること、進展することを意味します。

以上、字義的にみると「壬辰年」は、任された人が様々な負担に耐え、それを克服することによって果実を生み出す活力が旺盛となり、物事が進展する希望のもてる年です。いずれにしる不況払いの昇り竜にあやかり、光雲登竜天駆ける瑞兆の年にしたいものです、とおっしゃいます。

竜のことわざで熟語のみ紹介しますと、竜頭蛇尾、画竜点睛を欠く、飛龍在天、登竜門、一竜一猪、屠竜の技、竜の鬚を蟻が狙う、竜蟠鳳逸の士などなど。

そのほか竜にまつわる興味深い話や、生まれた有名人や歴史事件などの紹介があります。ちなみに先生は1932年満州・新京市生まれ、現在は大阪府吹田市にお住まいです。

オフィス架け橋

行政書士 特定社会保険労務士
松田 健 氏

<http://kakehashi-yokohama.web.officelive.com/shiminhomu.aspx>

【連載 その2】

【就業規則の役割とは】

個々の労働者と事業主との間の個別労働紛争が増加しています。その背景は、労働組合の活動と労働者の要求にズレが生じ、多様化する労働者の要求に労働組合が応えきれなくなったことや労働組合が捕捉できないパート・アルバイト、期間契約社員等の労働者が増えたことにあります。つまり雇用関係の「多様化・個別化」に、集団的労使関係は対応しきれなくなっているのです。

そのため、雇用や労働条件をめぐるトラブルは、会社と労働者の個別関係の中で解決を図ることが増えていることが原因です。

不当解雇、退職勧奨、残業代の未払いなどのトラブル、長時間労働や賃金の引き下げの利益変更などがトラブルのもとになります。

会社の規模や労働者の数に関係なく労働トラブルは発生します。そんなとき会社(経営者)を守るのが「就業規則」です。最新の法改正や会社の実態に合った就業規則でなければ効果的なりリスク回避はできません。

さらに就業規則は、労働環境の改善や従業員のモチベーションの向上、優秀な人材確保のためには欠かせないものです。

【 岩手県知事よりお礼のご挨拶 】

この度、異グ連が関わってまいりました東日本大震災への支援に対しまして感謝の気持ちとして岩手県沿岸広域振興局より県知事名のお礼の手紙とともに「三陸復興」と書かれた手拭いが金究議長宛に送られて参りました。ここに皆様にその手紙の全文をお伝え致します。

謹啓

寒冷の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、この度の東日本大震災津波に際しまして、多大なるご支援とご協力を賜り、深く感謝いたします。

未曾有の大災害による困難な状況におかれた中で、皆様からいただいた温かいお心遣いが、被災地に大きな希望を与えて下さいました。岩手県といたしましては、皆様の励ましに答え、安全に暮らし、働くことが出来る地域社会を目指し、震災からのいち早い復興に向け、全力で取り組み参りますので、今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

ここに、この度のご支援とご協力に対しまして略儀ながら書中をもって御礼申し上げますとともに、皆様のますますのご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

平成二十三年十二月二十八日

神奈川県異業種グループ連絡会議

議長 金究 武正 様

岩手県知事 達増 拓也

公印

< 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 >

【 会 員 紹 介 】

神奈川県商工会異業種交流研究会（KASIKO）様ご紹介

神奈川県商工会連合会、事務局長の植田様にお伺いいたしました。

取材記事 : 宗和

Q、この会について少しお教えいただけますか。

A、元々、昭和六十年に国・県が補助事業として行った『経営者育成異業種交流事業』の実施に伴い商工会連合会々員の皆様より参加者を募集して会を設立したのが始まりです。その頭文字をとって通称KASIKOとしました。神奈川県商工会連合会（昭和三十六年に設立）は商業者・工業者の集たということとは皆様もご存知のことだと思えます。商工会はそれぞれ地域経済にとつて強い縦のつながりがあるわけですが異業種交流活動を取り入れることにより横の連携が出来ればいっそう強い地域ネットワークが構築できると考えたわけです。

Q、活動内容はどの様なものですか。

A、基本的な活動として経営技術、商品、市場などに関する情報交換にはじまり工場見学、テーマ別分科会などの開催などを行っ

Q、会として異業種交流の位置づけをお教え下さい。

A、この「神奈川県商工会異業種交流研究会」は商工会と深く関わっています。あくまでも自主的なグループ活動として位置づけています。複数の異業種企業によって、互いに異なる情報や技術を相互交流させ経営者意識や経営能力の向上も高め、新たな組織や事業展開の可能性を追求することがねらいです。

Q 神奈川県商工会連合会が昨年創立五十周年を迎え、連合会々長の関戸様と黒岩知事が対談されておいでです。「企業をつなぐ」とか「農商工学の連携」などについて触れていらつしやいます。植田様から何か一言ございましたらお聞かせいただけますか？

A、私が担当を始めた平成元年の頃は、異業種との事業連携やネットワークでのビジネス展開を語る方は少数派でした。今や、地域間や産業間の連携・ネットワーク化は常識となり、更には業種間の境目もなくなつて色々な業態に発展しているようです。

IT技術の進歩による流通構造の変化に至つては、中小企業の減少につながつているので、今後は、地域の生活者をささえる地域の事業者の皆さんが、異業種交流や連携・ネットワーク的な手法を活用して元気になつていただきたいと思ひます。

ありがとうございました

まんてんプロジェクト

JASPA 千田 泰弘 氏

広島県尾道市の離島の百島診療所の所長（横浜出身のパイロット免許保持者）が水上飛行機を離島の往診などに使いたいとして市もこれを了承、全面的にバックアップすることとなった。近々、瀬戸内海で水上機を医療活動の移動手段に使う社会実験や今後の普及を行うためにNPO法人を立ち上げる計画で検討がなされている。地元選出の国会議員なども応援する体制が出来つつあり、まんてんプロジェクトメンバーの水上飛行機事業開発協同組合も積極的にこの動きを支援することになっている。

<その他関連記事>

新世代航空機普及促進協会（Advanced Aircraft Development Association 略称AADA）が発足した。日本における小型航空機の普及促進を図る任意団体で、小型航空機の利用を促進する為に障壁となっている各種の規制を緩和し、また規制を世界標準と同等並みにするための具体的な提言活動を行うことが目的。



第124回・日韓ビジネス協議会の開催案内

- 【日時】 2012年1月25日（水）16:00～17:30 *開始時間にご注意ください
17:30～19:30（新年会） 会費1,000円+新年会費3,000円
- 【会場】 神奈川中小企業センタービル・・・5階 会議室
かながわ異業種交流センター（異業種グループ連絡会議）TEL：045-633-5142
新年会会場：日南じとっこ組合 関内店 横浜市中区尾上町3-44 イセビルB1
TEL：045-680-6008 <http://r.navi.co.jp/gaak300/>
- 【講師】 シナジーソフトウェア 代表 小野 義通氏
- 【テーマ】 地熱エネルギーエバンジェリスト（evangelist）
「地熱エネルギーが未来を創る」（45分程度）



< シフト21 >

新年プレゼン交流会 2012（2012年1月28日（土）開催） プレゼン・展示・懇親会

- 日時： 2012年1月28日（土）14:30 受付
- 会場： かながわ労働プラザ 4階 5・6・7会議室
- 内容： 14時30分受付・展示ブース開場
15時～17時プレゼンテーション
17時15分～19時 懇親会（立食、名刺交換・ご歓談）

10社限定、1社当たり5分間
（満席）参加者全員による30
秒自己紹介も有り

- 定員： 70名 ■参加費： 3,000円/名
展示ブース利用料 1,000円/社（1社机1本、申込先着10社のみ）

- お申込み：異業種交流会シフト21事務局 有村まで arimura-c@nifty.com 携帯 090-1854-5334

シフト21 <http://shift21.jimdo.com/>

フェイスブック <http://www.facebook.com/shift21.yokohama>





かながわ産業 Navi 大賞 2012 の募集がいよいよ始まります。大賞賞金 100 万！

- 【募集期間】 平成 24 年 2 月 1 日(水)～4 月 16 日 (月)
 【対象者】 神奈川県内に事業を有する中小企業者または個人事業者
 【対象事業】 中小企業が開発した製品・商品・技術・サービスなどで具体的に事業化されているもの
 環境問題・保全への取り組みや省資源化に優れているものなど

詳細はホームページにて <http://www.navida.ne.jp/sangyo/kanagawa/>



セミナーのご案内 主催：コンサルト集団「C&Sグループ」 後援：異グ連

公的補助金の申請と獲得の秘訣 ～応募から採択後の書類作成まで～

- 【日時】 平成 14 年 1 月 20 日(金) 14:00～17:00
 【会場】 かながわ労働プラザ 4 階 第 4 会議室 横浜市中区寿町 1-4 TEL: 045-633-5413
 アクセスマップ: <http://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/1-plaza/>
 【講師】 中小企業診断士 松井 利夫 氏
 【受講料】 1,000 円 (会場費及び資料代)
 【定員】 25 名
 【申込方法】 FAX または E-MAIL でお申込み下さい
 FAX: 045-633-5194 (C&Sグループ 事務局)
 E-MAIL: toshio_matsui@move.biglobe.ne.jp
 【締切日】 平成 24 年 1 月 16 日(月)

中小企業の事業主にとって利用しやすい
 新商品開発、経営革新、ものづくり等の
 補助金を中心に補助金獲得の秘訣を具体的
 事例を交えて説明、応募から採択後の書類
 作成までの心構えをやさしく説明します。

【 今月のスケジュール 】

2012 年	1/6	16	18	20	25	28	2/1	1	2	10	15
	仕事始め (異グ連スタッフ会議)	西湘サロン	三浦半島経済人サロン	公的補助金の申請と獲得の秘訣	日韓ビジネス協議会の開催	シフト21・新年プレゼン交流会	かながわ産業 Navi 大賞 2012 受付	テクニカルショウヨコハマ (二月一日～三日)	2012 かながわビジネスオーデイション	海老名サロン	神奈川新産学交流サロン・横浜

< 告知 >

この度、異グ連のスタッフ会議におきまして様々な企業の方をお招きして勉強会を始めることとなりました。今回、1月6日に協立電機工業(株)取締役の有賀様と菅田様にお越しいただき震災後の様子などを伺いました。協立電機工業様は昭和11年に創業された会社で現在、神奈川県茅ヶ崎市にて主にモーターの修理などを手掛けていらっしゃる会社です。小さいものから大型モーターの修理まで可能なことから震災発生以来大手企業をはじめ発電所などから修理依頼が殺到し一時は置き場に困るといった状況だったそうです。

お話を伺っていると塩に浸かったモーターを煮出す作業も大変そう。日本の産業は多くの企業によって支えられているのだと改めて感じた次第です。

(宗和 談)

協立電機工業(株)様のアドレスはこちら <http://www.kyoriz-denki.co.jp/Equipment.html>

産学官交流サロンコーナー

	尾上町サロン	西湘サロン 第36回	三浦半島経済人サロン 第48回	神奈川新産学公交流 サロン・横浜 第48回
日程	原則第一・第三金曜日 17:15～19:30	1月16日(月) 18:00～20:00 開場は17:30～	1月18日(水) 18:00～20:20 開場は17:30～	2月15日(水) 18:00～19:30
場所	神奈川中小企業センター5 階 異グ連事務所	小田原市第三区公民館 小田原市栄町1-16-41 栄町交差点より徒歩1分 駐車場無 注意	神奈川新聞社 横須賀支社 5階会議室 横須賀市小川町21-9	神奈川中小企業センタ ー5階 会議室 異グ連
連絡先	異グ連(芝、八幡、鈴木)	異グ連(島津、吉池、)	異グ連(八幡、鶴野)	(織方、岡田、杉本、芝)
内容	自由なテーマで進行 (テーマの事前予約OK) 参加費:1,000円 ぶらり参加者大歓迎!!	「地域ブランドへの思い を込めた商品提供」 耕栄ファクトリーファーム代表 中川 正義氏 参加費:1,000円	「携帯電話の新たな活用 AR技術による意外な映像の 実現」 (株)アップスゲート 代表取締役:市川拓哉氏 参加費:1,000円	「他人事では済まされ ない、迫りくる相続問 題!!」 プルテンシャル生命保険(株) ライフプランナー 宗和 正憲 参加費:1,000円

* 異グ連連絡先につきましては最終ページ下部をご参照下さい

* 【池谷文庫開設】 商業関連、地域活性化の関連本の贈書がありましたのでどうぞ活用下さいませ。
事務局のコーナー

新年あけましておめでとうございます。昨年発生しました東日本大震災は日本のみならず世界中の人たちの心に深く刻まれた事でしょう。今、気仙沼ではかろうじて残ったある1本の松の木が話題となっています。なんでもその立ち姿が昇り竜に見えるのだとか。今年は辰年とあって、以来ひっきりなしに人が訪れている様です。ささいな事だと言えどもそれまでもかもしれません。現地の皆さんにとっては心の支えになっているのでしょう。異グ連としましても昨年同様、引き続き被災地への支援を行う予定です。今後の皆様方のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

「かながわ異グ連ニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって**未来へつながる「役立ち情報誌」**となります。お気軽にご投稿下さいませ。お伺いできる範囲であれば取材にもお伺いします。尚、自薦・他薦は問いません。ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masahito@ab.bb-east.ne.jp



神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】 ①②④荒 直孝 ③⑤村田和彦 【火】 八幡 敬和 児玉 英二 【水】 杉本 明子 (芝 忠)
【木】 松井 利夫 【金】 ①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男 【土、日、祭日】は休業
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局
T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail : iguren@kanagawa-iguren.com

より良い紙面にしていくため皆様からの投稿、ご意見をお待ちしております。お問い合わせ、連絡先は下記の通り。

(会報編集担当) mail masahito@ab.bb-east.ne.jp 宗和(そうわ) 携帯:090-5556-8238
神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 Tel:045-633-5142 Fax:045-633-5194 まで。